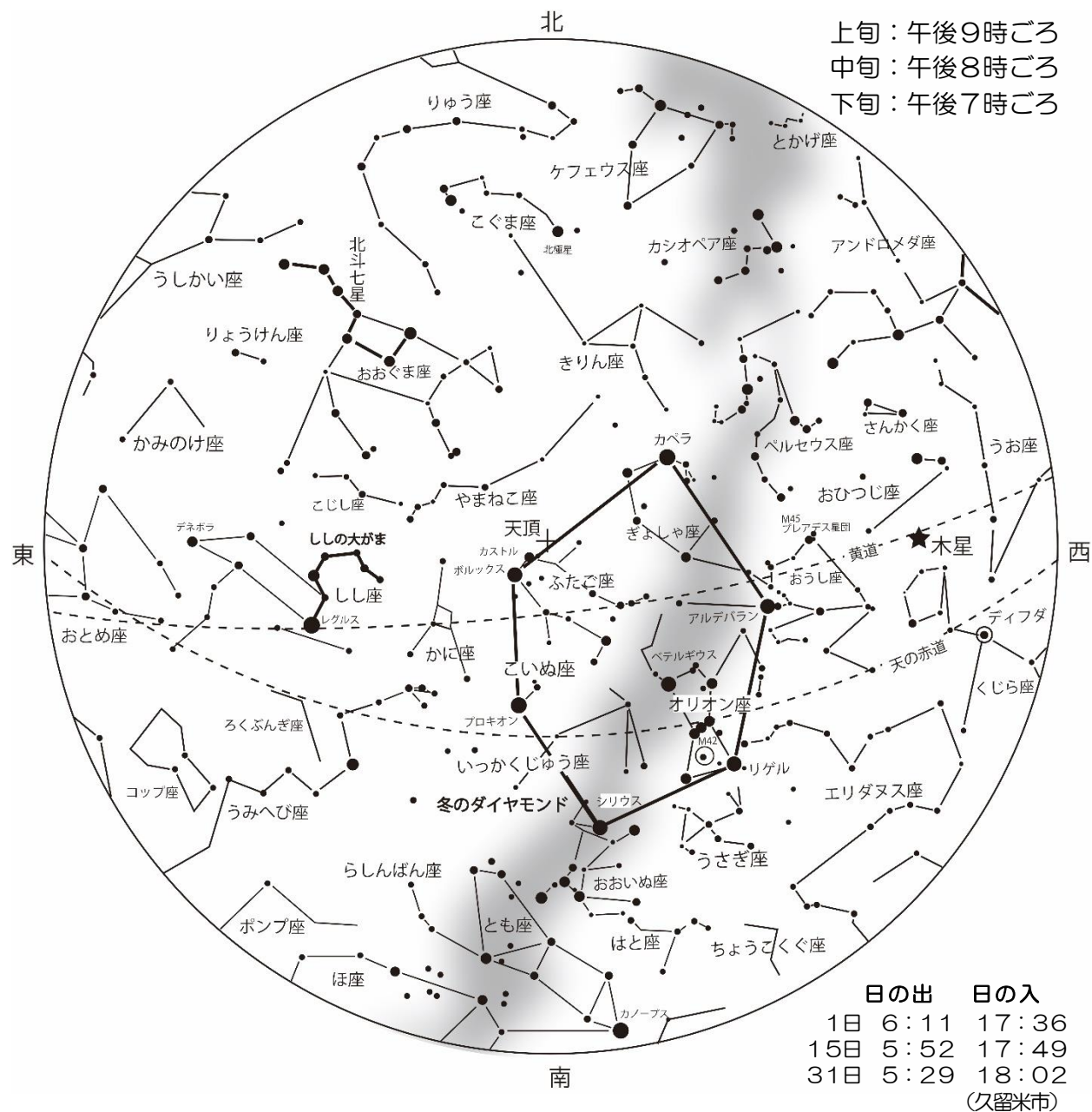


令和6年 3月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～

上旬：午後9時ごろ
中旬：午後8時ごろ
下旬：午後7時ごろ



★3月の星空案内

3月の星空には、南から南西の空で見ごろを迎えている冬の星座たちが、東の空では春の星座たちが見え始めています。まずは、冬の星座探しの案内役となる**オリオン座**を探しましょう。オリオン座は等間隔に並んだ3つの星“三ツ星”と、それを取り囲む明るい4つの星がつくる砂時計のような星の並びが目印です。オリオン座の左上で赤っぽく輝く星が1等星の**ベテルギウス**、右下で青白っぽく輝く星が1等星の**リゲル**です。オリオン座の三ツ星を結ぶ線を南東（左下）にのばしていくと、1等星の中で最も明るく輝く**おおいぬ座のシリウス**が見つかります。そして、ベテルギウスから東側の空を見ると、**こいぬ座の1等星プロキオン**が見つかります。さらに天頂（観測者の真上に当たる点）近くには**ふたご座の1等星ポルックス**が見つかります。また、オリオン座の西側には、黄色っぽく輝く1等星の**カペラ**があり、ここには**ぎよしゃ座**を見つけることができます。最後に、オリオン座の三ツ星を結ぶ線を北西（右上）にのばしていくと、オレンジ色っぽく輝く**おうし座の1等星アルデバラン**を見つけることができます。リゲル、シリウス、プロキオン、ポルックス、カペラ、アルデバランの6つの1等星を結んでできる大きな六角形を『冬のダイヤモンド』と言います。

また、東の空には春の星座が見え始めています。南東の空を見ると「？」マークをひっくり返したような星の並びがあります。これを『ししの大がま』といいます。ししの大がまの一番下にある星はしし座の1等星の**レグルス**です。「ししの大がま」はしし座の一部で、ししの頭から胸にあたります。

3月の星空は冬の星座たちを追うように春の星座が東の空で見え始めます。星空でも季節の移ろいを感じてみてはいかがでしょうか。

【 見ごろの惑星 】（☆マークは、今月のおすすめです。）

- 水星（-0.8等前後）：みずがめ座→うお座付近 観望に適さない。
- 金星（-3.9等前後）：やぎ座→みずがめ座付近 観望に適さない。
- 火星（1.2等前後）：やぎ座→みずがめ座付近 観望に適さない。
- ☆木星（-2.1等前後）：おひつじ座付近 日の入り後、西の空で明るく輝く。
- 土星（1.0等前後）：みずがめ座付近 観望に適さない。

注目の天文現象（3月）～日の入り後、西の空で木星に近づく月を観察しよう～

3月は午後7時30分ごろから午後9時ごろにかけて、木星が西の空で約-2等ほどの明るさで輝いています。また、今月は3月13日（水）から14日（木）にかけて、この木星に月が近づきます。月が木星に最も接近するのは14日（木）の午後7時7分になります。しかし、この時間はまだ空が明るいので午後7時30分ごろから観察をはじめましょう。この細い月は三日月のように見えますが、3月10日の新月から数えて4日目の月にあたります（四日月とよぶこともあります）。この日は細い月と明るく輝く木星が並ぶようすを楽しめるでしょう。

今月は日の入り後、西の空で輝く木星と月を観察してみたいかがでしょうか。

日の出	日の入
1日 6:11	17:36
15日 5:52	17:49
31日 5:29	18:02

(久留米市)

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
4	月	☾ 下弦 (00:23)	20	水	春分 (12:06)
10	日	● 新月 (18:00)	25	月	○ 満月 (16:00)
17	日	☽ 上弦 (13:11)			